

●クリチバ治安情報(当館至近のバスターミナルにおける銃撃強盗事件)

10月27日当地ガゼッタ・ド・ポーヴォ紙はクリチバ市セントロ地区のグアダルペ・バスターミナル(当館から100mに位置)において男性が強盗により銃撃された旨報じていますので、お知らせ致します。

10月27日未明2時20分頃、クリチバ市セントロ地区のグアダルペ・バスターミナルにおいて強盗が被害者(男37歳)に対し2発銃撃(2箇所(腕及び胸部)に被弾)した。被害者は女性を帯同しているも、同女性に怪我は無い。犯人は未逮捕。軍警によると、被害者はエヴァンジェリコ病院に搬送されるも、容体は安定している由。

●感染症関連情報(パラナ州におけるデング熱の流行)

1. 10月28日付当地紙「ガゼッタ・ド・ポーヴォ」は、ロンドリナ市によるデング熱緊急事態宣言発令につき報じていますので、お知らせ致します。

(1) 10月20日、ロンドリナ市は、デング熱に対する180日間限定の「緊急注意事態(SITUACAO DE ALERTA EMERGENCIAL)」を発動した。なお、同市によるデング熱関連緊急事態宣言は2回目となった。

(2) なお、同宣言により、ロンドリナ市は入札等を経ずして伝染病関連臨時職員60名の追加的雇用が可能となり計260名となる。マルシオ・ニシダ同市保健部長は、「昨年、本件職員数につき70名から200名に増員したが、本年は260名が必要となるので、雇用を早急に行う」旨言及した。同部長によると、発生時期に当たる来年初頭の感染を防止するには、本年10月から12月に職員の増員を要する由。

(3) 本年(2011年1月1日~10月27日)において、ロンドリナ市は7,400人超のデング熱感染者を確認し、2003年以降最悪の感染結果となった。また、最近の降雨により伝染蚊の発生場所数の増加が確認され、2012年は感染増加が懸念される。エルソン・ベリザリオ同部伝染病コーディネーターによると、デング発生指数は最大1%に抑制すべし旨WHOは推奨するも、既に同市は数値を上回っている。

2. 10月31日、当館よりマリエ・リマ/ロンドリナ市同部伝染病担当に対し本件報道振りにつき確認したところ、先方発言は次の通りですのでお知らせ致します。

(1) 現在、ロンドリナ市においてデング熱が流行しているものではない。他方、新聞報道振りの通り、同市における本年デング熱感染者数は、2003年以降最悪の感染者数であるので、予防強化を目的とした雇用促進を行うべく本件宣言を発令したものの。

(2) 特に、1, 2及び3型ウィルスが発生しているロンドリナ市は、他州から4型も侵入すると危険な状況になり得るので、先ず予防措置として人的体制強化に力を入れることになった。